

○現行制度の改善又は拡充を求めるもの（改善を求めるもの）

区分	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 再提案（ ・ ・ 第 回総会； 市）			
種類	<input checked="" type="checkbox"/> 現行制度の改善又は拡充を求めるもの <input type="checkbox"/> 新たな施策の要望又は提案を求めるもの <input type="checkbox"/> 特に市町村への財政支援策等を求めるもの <input type="checkbox"/> その他（ ）		分野	<input type="checkbox"/> 総務文教 <input checked="" type="checkbox"/> 社会環境 <input type="checkbox"/> 経済 <input type="checkbox"/> 建設
要望先	<input checked="" type="checkbox"/> 国	担当省庁	厚生労働省	
	<input checked="" type="checkbox"/> 県	担当部局	健康福祉部	
	<input type="checkbox"/> その他	名称		
件名	2 地域における産婦人科医の確保対策について			
提案市	松本市			
提案要旨	<p>地方を中心に不足している産婦人科医を確保するため、地域枠推薦による医学部の卒業生が、県の指定する医療機関における初期臨床研修で必ず産婦人科を経験することを要望する。</p> <p>また、2020年度に厚生労働省が見直しを予定している医師臨床研修制度において、産婦人科を選択必修から必修科に戻すことを要望する。</p>			
提案理由	<p>松本地域における周産期医療に関するアンケート調査の結果、分娩に立ち会う産婦人科医の過度の負担と、将来の産科医療体制の維持が危惧される実態が明らかとなった。</p> <p>中でも初期臨床研修において、産婦人科を選択しない研修医の割合が6割あったことから、産婦人科を専攻する入り口として、初期臨床研修を経験する機会を増やす等、抜本的な見直しが必要である。</p>			
現況及び課題等	<p>松本地域における周産期医療に関するアンケート調査結果</p> <p>○分娩医療機関対象調査</p> <p>医師（常勤・非常勤を含む）1人当たりの最も多かった分娩件数 149.8件</p> <p>※医師（常勤のみ）1人当たりの全国平均（日本産婦人科医会） 82.9件</p> <p>○分娩に立ち会う医師対象調査</p> <p>業務に負担や不安を感じている項目（複数回答）</p> <p>「遅い帰宅時間となる長時間労働」 88.9%</p> <p>「宿直明けの連続勤務」 72.2%</p> <p>○初期臨床研修医対象調査</p> <p>産婦人科を研修先として選択しない 61.4%</p> <p>産婦人科を進路として希望する 0%</p>			
法令関係				